

平成26年度

# 湯沢砂防だより

No.7

平成26年6月12日

国土交通省 湯沢砂防事務所



防災・減災  
新潟プロジェクト  
2014

## ◇第一上田小学校の4年生が、登川で鮎の放流体験を行いました◇

登川は過去から多量の土砂を下流へ運び、幾度となく水害、土砂災害を起こしてきたことから、湯沢砂防事務所では、登川流路工の整備を行ってきていますが、登川にはヤマメ、カジカ等の渓流魚が多く生息していることから、落差のある床固工に魚道を設置する等、魚類の遡上に配慮した整備を行っています。また、最近では、床固工の安定性を確保し、更に魚類の遡上効果をより向上させるため、過去に整備した階段式の魚道を全断面式に改良するなど、よりよい川づくりに向けた整備を行っています。

その登川流路工の最下流部付近で、平成26年6月10日(火)に第一上田小学校の4年生が鮎の放流体験を行いました。子供達は、鮎が川の中を行き来しながら大きく成長していくことを学んでから、鮎の稚魚を登川へと放ちました。

今回放流された鮎が大きくなって登川を行き来する姿が見られるよう、魚など環境にも十分配慮しながら、今後とも登川流域の安全、安心確保の為に事業を進めて参ります。



まずは、鮎についてちょっと勉強。



放した鮎が元気に泳ぎ出す姿を見て、歓声が上がっていました。



全断面式魚道への改築事例。どこからでも遡上することができます。